

「常磐炭礦閉山 50 年」の特別展に展示

写真集『いわき 1974-76』を出版するにあたり、直接いわき市に赴き、市内各図書館と「いわき市石炭・化石館」に趣意書を添えて写真集を寄贈しました。写真を、最終的には現地に返したい、何よりも現地の人に見ていただきたいとの思いからです。

今回、「いわき市石炭・化石館」から「常磐炭礦閉山 50 年」の特別展に展示するため、写真集に掲載された写真の提供要請があったことは、正に私たちの望むところでした。展示写真は8枚でしたが、まとまった形で展示されました。担当の方からは、当時の様子が迫力を持って伝わってきましたという感想をいただきました。行事終了後は、二次使用の場合は当方に連絡を入れることを確認して、博物館に寄贈することにしました。これを契機に、出版委

員会といわき市の間に、新しい繋がりが生まれることを期待しています。 立教 いわき 74-76 矢野 均



各部会報告・アーカイブ進捗状況 ('21/10/11-12/10)

広報部会

今年度から広報部会は東、福室茂子、今村の3人体制となり、より内容の濃い広報を目指しています。現在、以下の制作に取り組んでいます。

1 AAJPS 冊子

今まで AAJPS を紹介するものとしては公式ホームページがありますが、紙媒体として活動を紹介する冊子を作ることが理事会で承認されました。冊子は AAJPS の存在を対外にお知らせする手段としてさらに写真とデータの受け入れ先を見つけるために美術館や博物館、マスコミ関係などに接触し相談をするときに使うものとして考えています。サイズは B5 版 8 ページで構成、中には写真を中心として、「年表」と「言葉」を入れます。写真は写真集になっているものと宿舎などで問題にされた写真を入れます。写真集の写真は発行年ではなく撮影年で考えています。

また最終ページには今写真を整理中で未発表の長崎、北海道 101、大阪撮影、広島・基町、足尾・谷中についても記述します。

写真のセレクトは現在 1968 年まで終わっています。セレクトは Skype の画面共有を使い一枚一枚写真を見ながら話し合い決めました。

年代	写真
65 年	状況 65
66 年	状況 66
67 年	マネキン 自画像 七五三 1 テレビ
68 年	10・21 とは何か 日大解放区 激突メモ 呉秋月弾薬庫
69 年	69 年 10・21 11.13-17 広大闘争 4.28 沖縄闘争
70-71 年	広島デー この地上にわれわれの国はない 足尾 郡上 三里塚代執行

2 次回お知らせ便の内容

2021 年 6 月 30 日 AAJPS の会員である金子隆一さんが亡くなりました。金子さんは元東京都写真美術館専門調査員であり日本写真史の芸術写真研究の第一人者として知られています。特に東京都写真美術館での「1968 展」では全日の写真の紹介に尽力されました。

また AAJPS の方向性についてもアドバイスをいただきました。金子さんの功績を讃え次回のお知らせ便は「金子隆一特集号」とします。

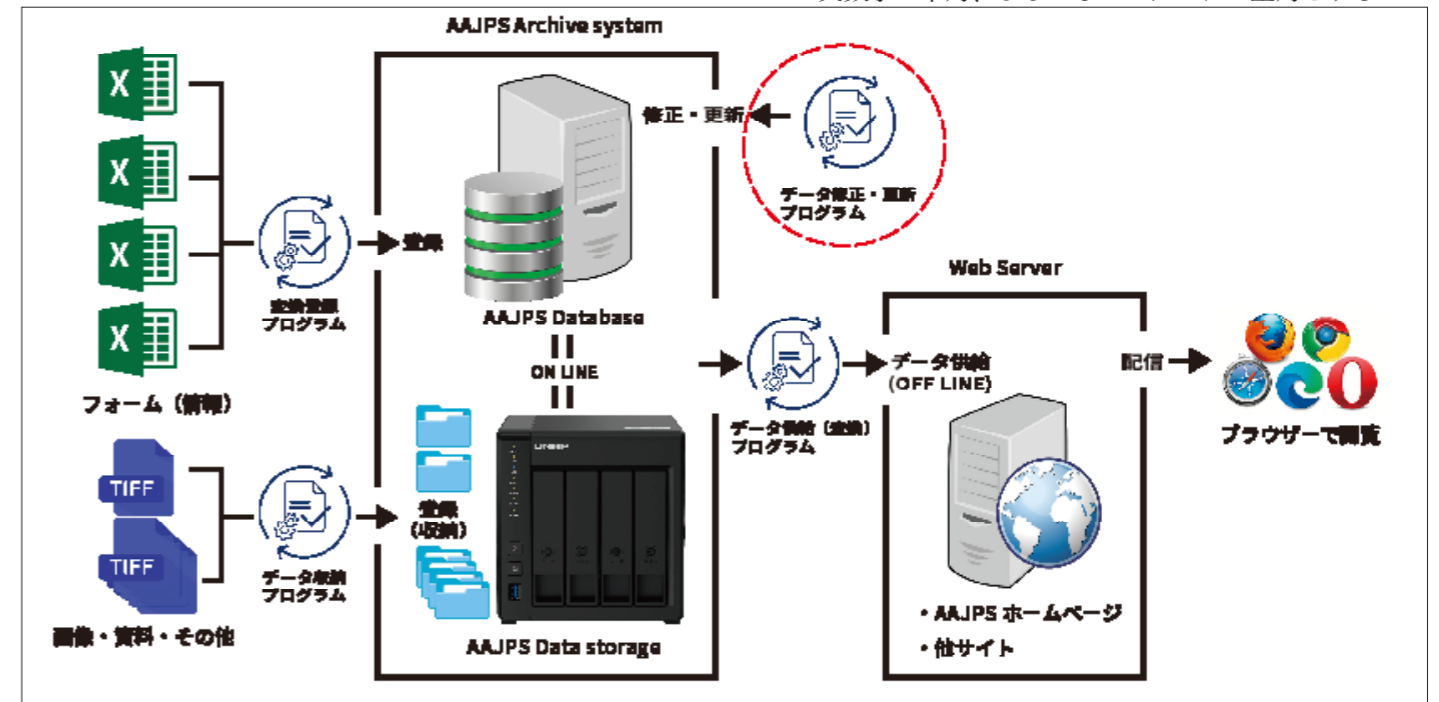
具体的には名古屋での講演、スペインでの講演、東京都写真美術館での「日本写真の 1968」展でのシンポジウム、岡崎英夫さんと金子さんの対談などを掲載する予定です。

データベース作成部会

AAJPS の目的達成には、デジタル化したデータを収納管理し、必要な画像や情報をストレスなく取り出せるデータベース (DB) の構築が必須となります。

そこで想定される DB のイメージ図をお示しし、概要をご説明します。

- ・データセルに整形や位取りのための文字 (スペース、改行、カンマなど) を含めない
- ・数値等のデータ、タイトル、単位以外の情報をセルに含めない
- ・値が存在しない場合を除きデータセルを空白にしない (安易な省略の排除)
- ・英数字は半角、ひらがな・カタカナは全角とする



この AAJPS Archive system は、パソコン (PC)、外付けハードディスク、オペレーションシステム (OS) と情報を管理するためのデータベースソフトで構成されるイメージです。

その働き (機能) としては、DB 化するために

- ・表記統一された Excel の情報を格納する
- ・スキャンした画像データを収納管理する

次いで

- ・登録された情報の加筆、修正などのメンテナンスをする
 - ・情報を公開する Web サーバーに画像やテキスト情報を供給する
- といった仕事を担います。

ワーキンググループでは DB 構築の第一歩として、各作業チームがこれまでデジタル化したデータの「目録」をまとめ、フォーマットを統一する検討に入りました。目録については、スキャンなどによるフィルムやプリントのデジタルデータ化が本格化する前の 2018 年 3 月に「統一フォーマット」を定めていましたが、集まったものは様々にカスタマイズされたものでした。

そこで、Excel の目録を機械で読み取るためのガイドラインを再確認しつつ新たな統一フォーマットづくりに着手しました。参考にしたガイドラインは以下の通りです。

- ・表データは列を項目、行をレコードとして構成する
- ・一つのデータセルには一つの要素のみ記入する

- ・データ列の内容を示す項目名は 1 行で構成する
- ・レイアウトのための空行・列は使わない
- ・データセルにフリガナ・コメント・注釈などの加工は行わない
- ・すべてのセルは他のセルと結合しない

当初エクセルで作る統一フォーマットのみを想定していましたが、実際に作られた目録の「項目」のばらつきなどを勘案して検討を重ねた結果、「フィルム目録」「プリント目録」「資料 (テキスト、図録) 目録」の 3 種類のフォーマットで対応するとの方向で取り組むことになりました。

しかし、「整理番号」(現行の項目名) に Windows の「マル数字」などが使われていると、別システムで読み込んだ場合にまったく別の表記に化けてしまう事象が発生するため、各チームの目録と TIFF 形式のデータに記載されている「整理番号」をチェックする必要が浮上しました。今後その照合作業を進め新フォーマット案の策定を急ぎます。

一方、これまで組織的な取り組みが手つかずのままの資料については、どこに、だれが、どのようなものをどれくらい保有しているかの実態調査も必要だと考えています。

今後何かと皆さんにご協力いただかなければいけないことが想定されています。「フィルム目録」「プリント目録」は成案を得次第詳細をご説明し、統一フォーマットへの移し替えなどをお願いすることになりますので、その際はよろしくお願いたします。 文責：福崎

上段 65 / 中段 66 / 下段 67 年



上段 67 年 / 下段 68 年

'65 ~ '79 までの全日・491 のアーカイブ作りは着々と進んでいます。お手持ちのネガや資料の情報をお知らせください。 お問い合わせ等：277-0053 柏市酒井根 2-20-11 東 関 hig811@gmail.com